

# 平成29年度 審判講習会・レフェリーキャンプ（審判研修会）実施計画

## 1 日B・日C審判講習会実施計画

- 第1回(6人制)北海道大学春季リーグ総合大会 5月 6日(土)～ 7日(日) 札幌市
- 第2回(9人制)北海道実業団リーグ 5月27日(土)～28日(日) 深川市
- 第3回(6人制)北海道大学秋季リーグ総合大会 10月 8日(日)～ 9日(月) 旭川市

## 2 レフェリーキャンプ（審判研修会）実施計画

- 9人制キャンプ（全道市役所大会） 8月26日(土)～27日(日) 旭川市
- サマーキャンプ（ニセコ町長杯） 8月10日(木)～11日(祝) ニセコ町
- オータムキャンプ（横田杯） 9月17日(日)～18日(月) 帯広市
- ウィンターキャンプ（高校男子合宿） 12月25日(月)～26日(火) 深川市

## 3 講習会、レフェリーキャンプテーマ

- ① 審判員は、公平な立場で試合を運営し、ルールを正確に適用して、バレーボールの魅力を十分に引き出せるようなゲームマネジメントを行う。
- ② 審判員は、メンタル面の強化を図り試合全体をコントロールできるように他の役員と協力してスムーズな試合運営を行う。
- ③ 審判員は、選手・チームスタッフから信頼されるように審判技術の向上を目指し、日々の審判技術の研鑽に努める。

## 4 重点指導項目

### (1) 主審

- ① 判定に対する不満な態度や相手に向かって威嚇的な態度や声を出す行為はステージ1を。主副審、ラインジャッジに詰め寄るような態度には、直接ステージ2を与えて、再発を防ぐ。
- ② ハンドリング基準の確立。
- ③ サービス許可は、前ラリー終了から次のサービス許可までは8秒でホイッスルする。両チームの準備が出来てサーバーがボールを保持していれば直ちにサービス許可のホイッスルをする。

### (2) 副審

- ① サービスヒット後、副審はサービスボールが副審側の許容空間外側を通過するかアンテナに触れるかを判定するために素早くネット上方に視線を移す。
- ② サブスティチューションの手順及び取扱いを十分理解し、複数の交代、両チーム同時のケースについてスムーズに行えるようにする。

### (3) 記録

- ① プロトコール中に、コートของทีมメンバーを記録用紙で確認する。
- ② サービス順の誤りが発生し競技を再開する際、副審に両チームの正しいポジションを正確に伝えられるようにする。
- ③ サブスティチューションは記録員の責務である。必ず記録員がブザーを鳴らすこと。
- ④ 最終結果（RESULTS）の集計を素早く行う。

### (4) アシスタント・スコアラー（6人制のみ）

- ① リベロリプレイスメントを正確に記録。反則の場合はブザーを鳴らすタイミングに注意する。
- ② タイムアウト、テクニカルタイムアウト中は、リベロの位置を副審に通告する。

### (5) 線審

- ① 担当ラインの判定を確実に行う。ボールコンタクトは確実に見えた場合に限り判定する。
- ② アンテナに関わる判定方法やボールを取り戻す場合の判定方法を確認し試合に臨む。